



福岡県感染症情報ホームページでは、  
感染症発生情報、病原体検出情報などを  
ご覧になれます。

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
担当 中尾 長藤  
直通：092-643-3597  
内線：3065

# 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和8年第17週（令和8年4月20日～令和8年4月26日）

福岡県感染症情報センター

## ■ コメント

- ・大型連休中は、大人数で集まる機会や不特定多数との接触が多くなります。こまめな手洗い、適切なマスクの着用等の基本的な感染防止対策を心がけましょう。また、海外旅行される方は、渡航前に、渡航先で流行中の感染症を確認し、正しい予防法を身に付け実践しましょう。
- ・麻しんの報告が国内外において増加しており、今後の動向に注意が必要です。麻しんは、極めて感染力が強く、感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水、眼の充血等の症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが出現します。麻しんを疑う症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に電話で相談し、医療機関の指示に従って速やかに受診してください。受診の際は、周囲への感染拡大を防ぐために、必ずマスクを着用し、公共交通機関の利用は控えてください。麻しんは、手洗い、マスクのみでは予防できず、ワクチン接種が最も有効な予防法です。定期接種の対象年齢で、未接種の方は早めに予防接種を受けましょう。

## ■ 全数把握疾患報告

| 病名             | 福岡県 |       | 全国（前週） |       |
|----------------|-----|-------|--------|-------|
|                | 報告数 | 累積報告数 | 報告数    | 累積報告数 |
| 結核             | 17  | 251   | 249    | 4,131 |
| 腸管出血性大腸菌感染症    | 4   | 28    | 70     | 571   |
| レジオネラ症         | 1   | 22    | 32     | 504   |
| 急性脳炎           | 1   | 9     | 2      | 144   |
| 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | 1   | 28    | 20     | 464   |
| 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | 1   | 9     | 6      | 158   |
| 侵襲性肺炎球菌感染症     | 1   | 45    | 52     | 1,010 |
| 梅毒             | 11  | 215   | 198    | 3,253 |
| 百日咳            | 3   | 108   | 90     | 2,436 |

## ■ 定点把握疾患報告数

     : 警報

     : 注意報

| 病名             | 福岡県   |       |      | 全国（前週）  |       |
|----------------|-------|-------|------|---------|-------|
|                | 報告数   | 定点当たり | 前週比  | 報告数     | 定点当たり |
| 新型コロナウイルス感染症   | 43    | 0.35  | 1.43 | 2,556   | 0.68  |
| インフルエンザ        | 47    | 0.39  | 0.62 | 3,457   | 0.92  |
| 急性呼吸器感染症       | 6,543 | 53.63 | 1.08 | 186,273 | 49.95 |
| RSウイルス感染症      | 126   | 1.80  | 1.42 | 1,337   | 0.59  |
| 咽頭結膜熱          | 63    | 0.90  | 1.26 | 581     | 0.26  |
| A群溶血性レンサ球菌咽頭炎  | 385   | 5.50  | 1.00 | 6,673   | 2.96  |
| 感染性胃腸炎         | 416   | 5.94  | 0.95 | 11,424  | 5.06  |
| 水痘             | 51    | 0.73  | 0.96 | 726     | 0.32  |
| 手足口病           | 61    | 0.87  | 1.13 | 411     | 0.18  |
| 伝染性紅斑          | 2     | 0.03  | 0.40 | 190     | 0.08  |
| 突発性発しん         | 34    | 0.49  | 1.13 | 619     | 0.27  |
| ヘルパンギーナ        | 12    | 0.17  | 1.71 | 105     | 0.05  |
| 流行性耳下腺炎        | 5     | 0.07  | 1.67 | 78      | 0.03  |
| 急性出血性結膜炎       | 0     | 0.00  | 0.00 | 8       | 0.01  |
| 流行性角結膜炎        | 36    | 1.38  | 1.57 | 258     | 0.37  |
| 細菌性髄膜炎         | 0     | 0.00  | 0.00 | 8       | 0.02  |
| 無菌性髄膜炎         | 0     | 0.00  | 0.00 | 23      | 0.05  |
| マイコプラズマ肺炎      | 2     | 0.13  | 2.00 | 81      | 0.17  |
| クラミジア肺炎        | 0     | 0.00  | -    | 8       | 0.02  |
| 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | 1     | 0.07  | 0.50 | 32      | 0.07  |

# 麻しんの感染拡大防止に向けた県民の皆様へのメッセージ

- 重症になりやすく、感染力が極めて高い麻しん（はしか）が、2020年以降最多となるペースで感染拡大しています。麻しん（はしか）は、マスクや手洗いでは感染予防として十分ではなく、ワクチンが重要です。麻しん（はしか）は、「かかってもたいしたことはない」感染症ではなく、肺炎・脳炎・腸炎などで重症化することも多く、先進国でも重症化することもあり、1,000人に1人死亡するとされている感染症です。更なる感染拡大防止のため、以下の事項について、ご協力をお願いいたします。

## ＜麻しん（はしか）を疑う症状がある場合の対応＞

- 麻しんを疑う症状がある場合は、外出を控えるとともに、受診する場合には、事前に医療機関に連絡の上、医療機関の指示に従ってご対応いただくようお願いいたします。
- 感染拡大防止のため、受診の際には、公共交通機関の利用を可能な限り避けることについて、ご協力をお願いいたします。

## ＜保健所の疫学調査へのご協力＞

- 麻しん（はしか）の感染拡大防止には、患者や接触者に対する保健所による調査が重要です。ご協力をお願いいたします。

## ＜ワクチン接種のご検討＞

- ご自身の発症予防、重症化予防、集団としての感染拡大防止の観点から、ワクチンは2回接種することが重要です。
- お子様は麻しん・風しんワクチンの定期接種の対象である1歳又は就学前1年間にある場合、積極的に早期の接種をご検討ください。
- 海外では大きな流行が複数の国で報告されています。接種が不十分な場合、渡航の2週間前までに接種することをご検討ください。
- 2000年4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、2回の定期接種が行われていない可能性があります。母子健康手帳等で、過去の麻しんの罹患歴又は2回の接種記録を確認できない方は、今一度、麻しん・風しんワクチンの接種をご検討ください。なお、今回の流行は10代～40代の方を中心に流行していることも踏まえ、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

## ＜特にご注意いただきたい方々＞

- 特に、以下の方々は、接種が不十分な場合、ワクチンの接種をご検討ください。
  - ・ 保育園や学校職員、医療機関職員など、小さいお子さんや患者さんと接触する機会の多い方
  - ・ 空港職員、観光業スタッフなど渡航者と接触する機会の多い方
- また、以下の方々は、感染すると重症化すると言われておりますのでご注意ください。
  - ・ 妊娠中は麻しん風しんワクチンの接種はできません。早産や流産のリスクがあるため、妊娠前の接種をご検討ください。
  - ・ 免疫不全のある方は、主治医の方と相談のうえ、麻しん風しんワクチン接種をご検討ください。
  - ・ 乳幼児は、肺炎や脳炎を起こすリスクがありますので、ご家族の接種歴をご確認ください。

詳しくは、県ホームページ（麻しん（はしか）に注意しましょう） →  
をご覧ください。

